協同学習ワークショップ〈ベーシック〉

－“協同”で学ぶ、“協同”を学ぶ教育実践－

担当者	石田裕久　（南山大学人文学部心理人間学科教授） 長濱文与　（日本協同教育学会認定トレーナー）
概要	協同学習では、互いに協力して学習課題に取り組むなかで、学習課題の理解はもとより、対人関係をはじめとしたさまざまな社会的スキルが獲得されます。近年、日本の教育界においても数多くの実践が報告され、その有効性が確かめられています。 このワークショップは、日本協同教育学会(JASCE)が認定した基礎講座で、協同学習法に関する本格的なトレーニングの入門コースです。今回の基礎講座では、協同教育の理念や基本概念を紹介します。そして、参加者の皆さんに協同学習の技法を実際に体験していただきながら、以下の内容を中心に考えていきます。 •協同の考え方に立つ学習観・教育観 •グループ学習と協同学習の違い •協同学習の定義 •協同学習に必要な個人思考と集団思考 •各種技法とその応用 2日間のワークショップになりますが、修了者には日本協同教育学会から修了証が出ます。この修了証はより上級の講座への受講資格となります。
日程	2008年9月6日（土）、9月7日（日）10：00～16：00
定員	32名
会場	南山大学　D棟
受講料	受講料　12,000円〈税込〉
講座報告 （アンケートより）	・今までの自分の実践を振り返り、協同学習とグループ学習の違いを明確にできた。 ・新たなアイデアが生まれ、すぐに生かすことができそう。 ・相互作用など協同学習を実体験できる場でした。